令和５年度　東京都小学校特別活動研究会
研究発表大会　【世田谷区立芦花小学校】

よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動

～これからの時代を生きる子供たちに求められる資質・能力を育む～

令和６年２月２２日（木）

文部科学省初等中等教育局　視学官
安部　恭子

学習指導要領　前文

（前略）これからの学校には，こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ，一人一人の児童（生徒）が，**自分のよさや可能性を認識する**とともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え，豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが，各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

教育課程部会における審議のまとめ
（令和３年１月２５日）（参考資料）

主体的な学び
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び
子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

授業改善

学習指導要領　総則　第３ 教育課程の実施と学習評価

一体的に充実

授業外の学習の改善

学習指導要領　総則　第４ 児童(生徒)の発達の支援

自ら学習を調整

学習内容の確実な定着

必要に応じた重点的な指導、指導方法等の工夫

各々の特性・学習進度・学習到達度等

指導の個別化

自ら学習を調整

学習を深め、広げる

一人一人に応じた学習活動・学習課題の提供

各々の興味・関心・キャリア形成の方向性等

学習の個性化

個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

異なる考え方が組み合わさりよりよい学びを生み出す

多様な他者と協働

一人一人のよい点・可能性

クラスメイト

異学年・他校の子供

地域の人

専門家

等

協働的な学び

修得主義の考え方を生かす
・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供　・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視

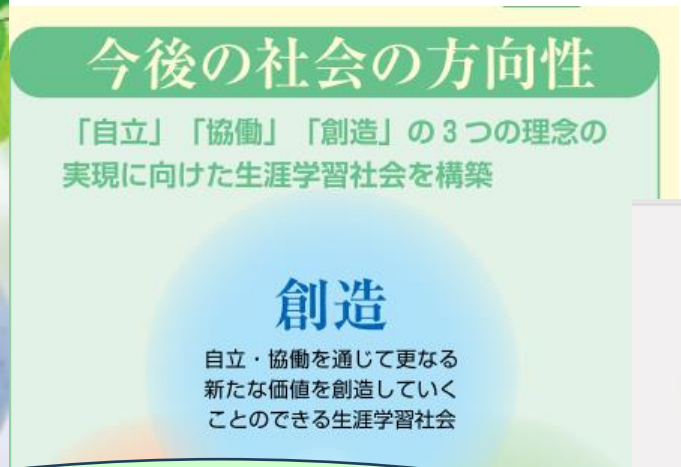
履修主義の考え方を生かす
・集団に対して共通に教育を行う　・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領　前文

※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和３年１月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

教育振興基本計画



- 教育基本法に基づき、政府が策定する教育に関する総合計画
- 今後５年間の国の教育政策全体の方向性や目標、施策などを定めるもの。

教育振興基本計画のコンセプト

次期計画のコンセプト

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

・**将来の予測が困難な時代**において、未来に向けて**自らが社会の創り手**となり、課題解決などを通じて、**持続可能な社会**を維持・発展させていく

・**社会課題の解決**を、経済成長と結び付けて**イノベーション**につなげる取組や、一人一人の**生産性向上等**による、**活力ある社会の実現**に向けて「**人への投資**」が必要

・**Society5.0**で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差したウェルビーイング（※）の向上

・**多様な個人**それぞれの**幸せや生きがい**を感じるとともに、**地域や社会**が**幸せや豊かさ**を感じられるものとなるための教育の在り方

・幸福感、**学校や地域でのつながり**、利他性、協働性、**自己肯定感**、自己実現等が含まれ、協調的要素と獲得的要素を調和的・一体的に育む

・**日本発の調和と協調**（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

教育に関するウェルビーイングの要素

- 自己肯定感
- 自己実現
- 心身の健康
- 安心安全な環境
- 幸福感
- 協働性
- 多様性への理解
- 利他性
- 社会貢献意識
- サポートを受けられる環境
- 学校や地域でのつながり

子供たちの主観的なウェルビーイングに関連する項目

〇自分にはよいところがあると思う
〇将来の夢や目標を持っている
〇授業の内容がよく分かる
〇勉強は好きと思う
〇普段の生活の中で、幸せな気持ちになる
〇友人関係に満足している
〇自分と違う意見について考えるのは楽しい
〇人が困っているときは進んで助けている
〇学級をよくするために互いの意見のよさを生かして解決方法を決める
〇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
〇先生は自分のいいところを認めてくれる
〇困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

今後5年間の教育政策の目標と基本施策（一部抜粋）

教育政策の目標

６．主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成

基本施策（例）

○子供の意見表明　○主権者教育の推進　○消費者教育の推進
○持続可能な開発のための教育（ESD）の推進　○男女共同参画の推進
○環境教育の推進　○災害復興教育の推進

指標（例）

・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合
・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると答える児童生徒の割合

子供たちが多様な他者と協働し、自分のよさや可能性を生かしてよりよく生きていくことができるようにする

育成を目指す資質・
能力の明確化

具体的な目指す児童生徒
の姿の明確化

指導と評価の一体化

PDCAを生かす

カリキュラム・
マネジメント

地域・社会との連携

カリキュラム・マネジメントの充実

【学習指導要領第1章総則第1
小（中）学校教育の基本と教育課程の役割】

４　各学校においては，児童（生徒）や学校，地域の実態を適切に把握し，教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと，を図っていくこと，教教育課程の実施状況を評価してその改善育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して，教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の**教育活動の質の向上**を図っていくこと（以 下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。

学習指導要領
児童生徒の実態や地域の現状

↓

学校教育目標を実現するために、
教育課程を編成

↓

適切に実施・評価
必要に応じて随時改善

この一連のサイクルが、いわゆる
「カリキュラム・マネジメント」である

特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

(2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】

(3) 自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，自己の（人間としての）生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。
（※（　）は中学校） 【学びに向かう力，人間性等】

特別活動で育成を目指す資質・能力の視点：「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」

各活動・学校行事の目標

【学級活動】

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成し，役割を分担して協力して実践したり，学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに，自主的，実践的に取り組むことを通して，第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【児童会活動】

異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【クラブ活動】

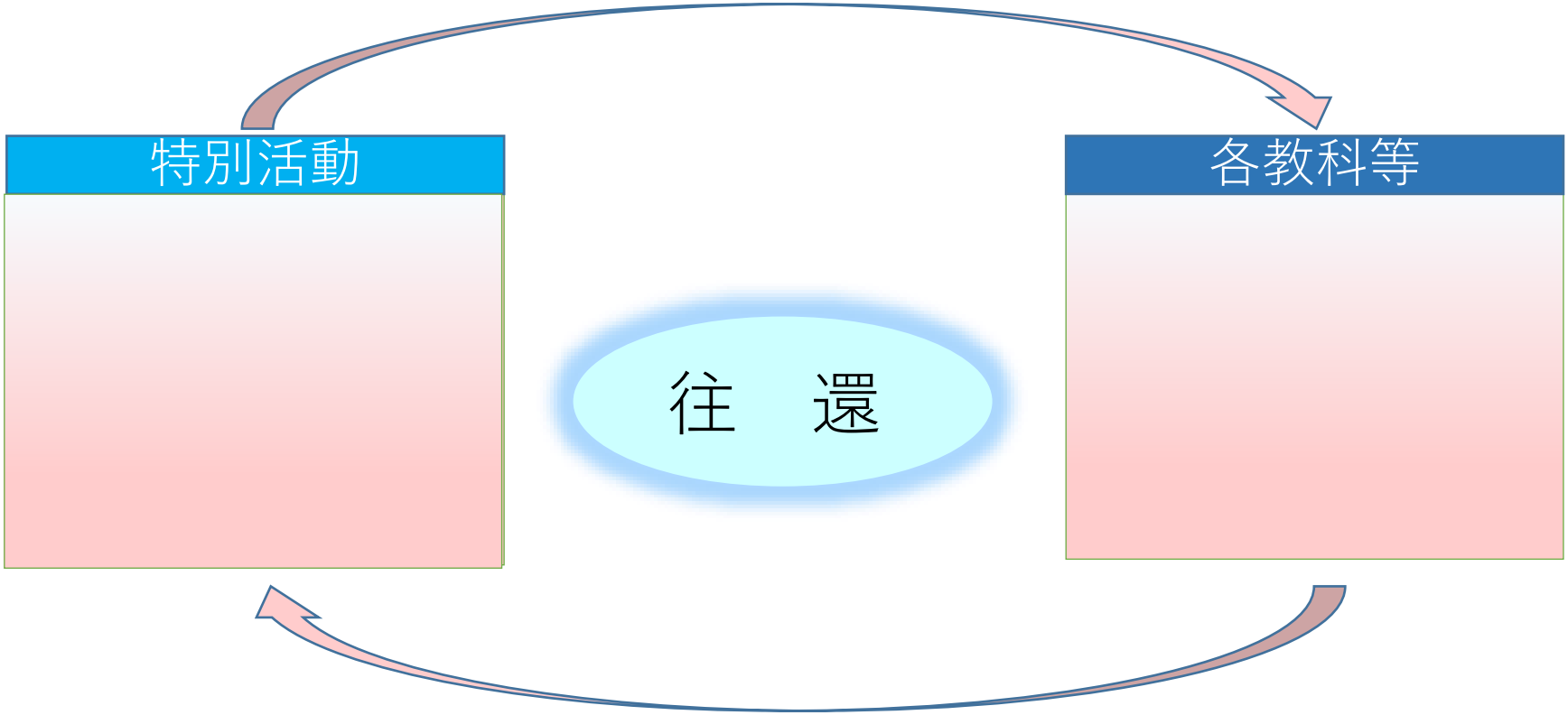
異年齢の児童同士で協力し、児童の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

【学校行事】

全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

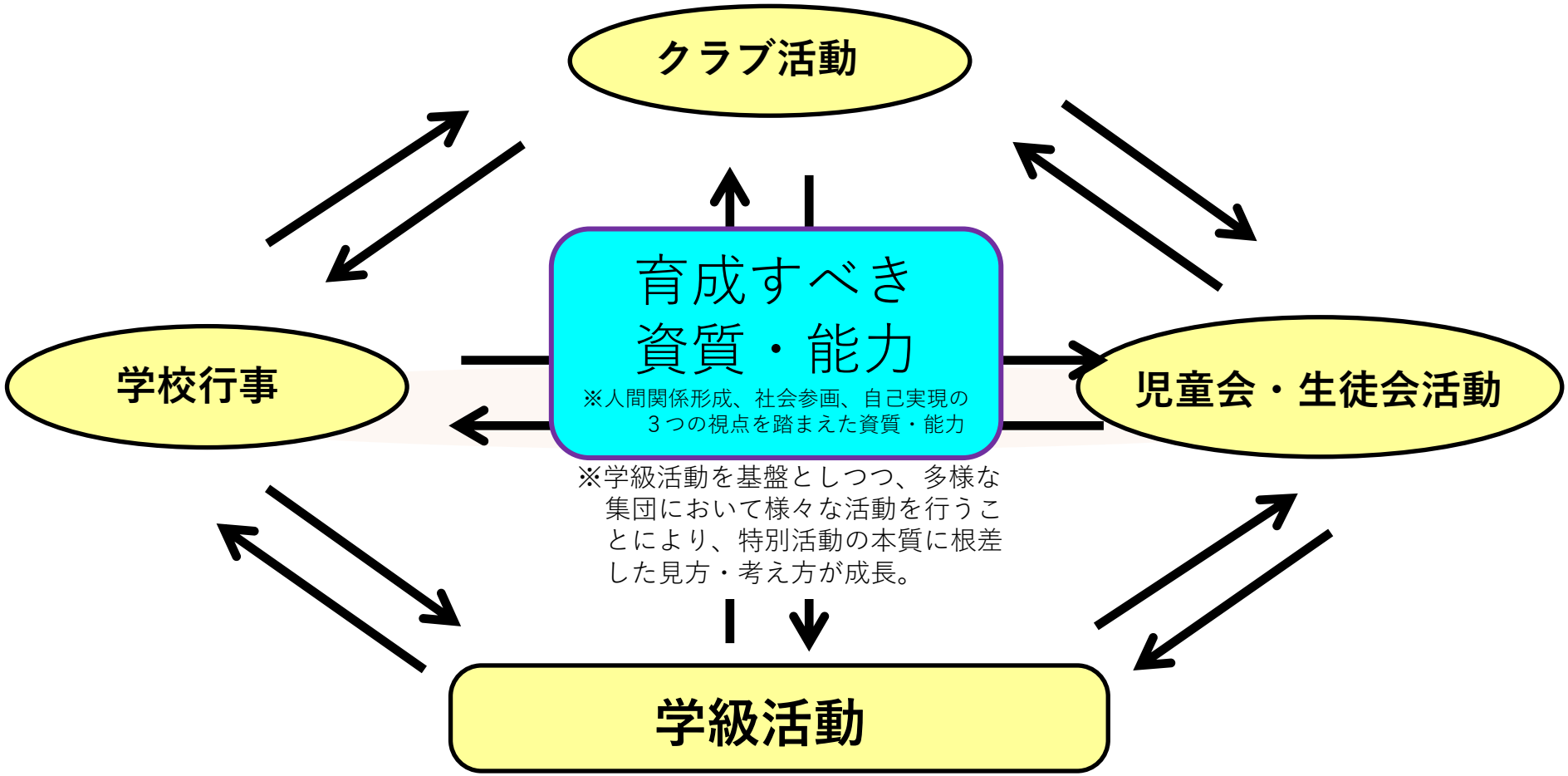
特別活動と各教科との往還について

【特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくり】
- 学校、学級づくり（学校文化、学級文化の形成）
- 人間関係形成能力の育成（コミュニケーションや合意形成など）
- 社会参画や自己実現のために必要な力



【各教科等の学びを生かした特別活動の実践】
- 各教科等で身に付けた資質・能力を特別活動の各活動の中で生かす
- 自己の生活や進路、キャリアに学校での学びをどう生かすのかという振り返りを行う

特別活動における各活動の整理



【特別活動の基盤である学級活動】

- 学級・学校生活における基本的な集団における活動。
- 「学級や学校の生活づくり」、「日常の生活や学習への適応及び健康安全」について学習する中で、基盤となる資質・能力を育成。

資質・能力の向上につながる学習過程の明確化

学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程（例）

学級活動(1)

①問題の発見・確認

活動内容

学級や学校における生活上の諸問題から課題を見いだし，議題を学級全員で決定する。課題解決の必要性を共有するとともに，話合いの計画を立て，解決に向けて自分の考えをもつ。

②解決方法等の話合い

よりよい生活づくりのために，取り組む内容や方法，役割分担などについて意見を出し合ったり，くらべ合ったりしながら話し合う。

③解決方法の決定

意見の違いや多様性を認め合い，折り合いを付けるなど集団としての考えをまとめたり決めたりして「合意形成」を図る。

④決めたことの実践

決定したことについて，自己の役割を果たしたり，互いのよさを生かして協働したりして実践する。

⑤振り返り

一連の実践の成果や課題を振り返り，結果を分析し成長を実感したり，次の課題解決に生かしたりするなど，実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

次の課題解決へ

事前から事後までを見通し、振り返りを次の課題解決に生かす！

よりよい合意形成

* 安易な多数決で結論を出さない。
* 多数意見でまとめていくことが基本だが，少数意見も尊重し，生かす工夫はないか考える。
* それぞれの意見をくらべ合いながら，「折り合い」をつけて合意形成を図る。

見方を変える
視点を変えて比較する

何が違うのかを明確にする
理由を明確にして話し合う

互いの意見を理解し合う
相手の立場に立って共感的に理解する

よりよい意思決定

* 事前アンケート等を活用し、「自己の生活上の課題を解決する」という意識を高める
* 学級や小グループで話し合い、多様な解決方法を見いだす
* 「学級での話合い」を生かして意思決定する
  ⇨「グループごとに話し合って発表して終わり」になっていないか
* 自分に合った具体的な目標や実践方法を意思決定する。

話し合うことで、思考を深めたり広げたりする

つかむ段階で、自己の課題が認識できるようにする

小（中）学校学習指導要領 第１章 総則
第４の１ 児童（生徒）の発達を支える指導の充実

(1) 学習や生活の基盤として，教師と児童（生徒）との信頼関係及び児童（生徒）相互のよりよい人間関係を育てるため，日頃から学級経営の充実を図ること。

小（中）学校学習指導要領　第６章　特別活動
第３　指導計画の作成と内容の取扱い

(3) 学級活動における児童（生徒）の自発的，自治的な活動を中心として，各活動と学校行事を相互に関連付けながら，個々の児童（生徒）についての理解を深め，教師と児童（生徒），児童（生徒）相互の信頼関係を育み，学級経営の充実を図ること。その際，特に，いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図るようにすること。

互いを尊重する学びの基盤となるもの

温かい人間関係

支持的風土

共感的な学級
の雰囲気

多様な集団活動を通して、
互いに支え合い、認め合う集団に

児童による自発的、自治的な活動の充実

自己有用感を高める

　特別活動では，特に学級活動（1）を中心とした自発的，自治的な活動を通して，児童生徒が互いに協力し合い認め合う中で，自分が他者の役に立つ存在であることを実感し，自分のよさや可能性を発揮して自信をもつようになる。

振り返りにおいても，自分や友達の努力や成長などを認め合ったり、教師から成長を称賛されたりするようにする。

↓

様々な集団での活動を通して、自治的能力や主権者として積極的に社会参画する力を育む。

多様な集団活動の経験の中で、集団活動の運営や役割を果たす活動を通して

自分なりの考えを深め、集団の一員としての役割貢献、リーダーシップの発揮などのあり方やめあてをもって取り組むことができるようにする。

↓

場や機会の充実

小（中）学校学習指導要領　第１章　総則第４の１（２）児童（生徒）の発達の支援

児童（生徒）が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童（生徒）理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること

特別活動の基本的な性格と生徒指導との関わり

（１）所属する集団を、自分たちの力によって円滑に運営することを学ぶ

（２）　集団生活の中でよりよい人間関係を築き、それぞれが個性や自己の能力を生かし、互いの人格を尊重し合って生きることの大切さを学ぶ

（３）集団としての連帯意識を高め、集団や社会の形成者としての望ましい態度や行動の在り方を学ぶ

学校全体で共通理解を図り、共通指導を行う

・基本的な学習過程を繰り返す中で、各教科等で学んだ知識・技能などを集団及び自己の課題解決のために活用していく

⇨特別活動で育成を目指す資質・能力は、１回の活動で育成することができるようなものではなく、繰り返し行うことにより育まれる

・「なすことによって学ぶ」という方法原理を生かし、多様な集団活動を積み重ねる中で育む

・全体計画・年間指導計画等に基づいて、各活動・学校行事の特質や、事前から事後までの一連の学習過程について共通理解を図り、共通指導を行う

⇨子供の学びが積み重なるようにするためには、教師が共通の指導を行うことが欠かせない

学級活動の年間指導計画例（小学校）※国研　小学校学習評価に関する参考資料 P80参照

学級活動の内容	(1)学級や学校における生活づくりへの参画【24時間】		(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 【(2)・(3)は合わせて11時間】	活動 学校行事等の予定
	予想される議題例		○指導上のねらい　・留意点	
4	〈1学期の議題例〉 ・「どうぞよろしくの会」をしよう ・係を決めよう ・学級の歌を決めよう ・学級のボールの使い方のきまりを決めよう。 ・願いごと集会をしよう ・「1学期まとめの会」をしよう 等	学級会の指導 計画 ・オリエンテーション 等について理解できるよう 分たちで選び，提案できるよう視点を示す。 ・計画委員が自主的に準備できるよう活動計画作成の手順を具体的に示す。	○4年生になって (3)ア ※(2)イ と を図る	○4年生の学習や生活を知り，個人の し，具体的なめあてが立てられるようにする。	・入学式 ・始業式 ・離任式 ・1年生を迎える会 ・避難訓練 ・交通安全教室 ・運動会 ・プール清掃 ・全校遠足 ・地域清掃 ・終業式
5			○地震に備えて (2)ウ	○地震が発生したときの安全な避 るよう ・危険を予測し，事前に備えるなど，日常生活を安全に保とうとする態度を育てる。	
6			○気持ちのよいあいさつ (2)ア	○進んであいさつをしようとする態度を育てる。 の き るようにする。	
7			○家庭学習の進め方 (3)ウ	○自主的に家庭学 とする意欲を育て ・意欲を継続させるため，1週間程	

（2）（3）が多くなり過ぎない

学年が上がるにつれ、（1）に当てる時数を十分確保する

「キャリア・パスポート」を活用する題材を明確化

年度当初は、人間関係づくりに適した議題を選定できるようにする

月ごとの題材を明記
系統性に留意

予想される議題例を学期ごとに例示

（2）（3）の7つの内容を全ての学年で扱う

内容相互・各教科等の指導との関連を図る

「子供が主体」となる特別活動を推進し、これからの時代に求められる資質・能力を育む！

参画意識を高め、自治的能力を育む

特別活動の実践を通して「自分たちの学級・学校である」「楽しく豊かな学級・学校生活を自分たちでつくる　」という意識を高める

「何のために話し合うのか」「何のための活動か」を明確にする ⇔ 「やらされる活動」にしない！

自己有用感、自己効力感を高める

「役割を果たす」（係活動、委員会活動、異年齢交流活動など）⇒「自分もやればできる」

役割意識を高める⇒自己有用感の向上

「互いのよさやがんばりに気付く」
「次の課題解決に生かす」ことができるようにする

将来に向け、「自分らしい生き方の実現」

「自分のよさに気付く」⇒振り返りの工夫

「なりたい自分に向けて努力する」⇒学級活動（３）の充実、
「キャリア・パスポート」の活用

学校行事の充実

「特色ある学校づくり」「学校文化をつくる」

よりよい学級・学校生活に向け、自分たちの生活上の課題に気付き、創意工夫して自ら解決する力を育む！

小学校特別活動映像資料　学級活動編

実際の話合いの様子を視聴することで、学級活動（１）の話合いの進め方や教師の支援の仕方を学ぶ

映像資料は、国立教育政策研究所のHPと文部科学省のYouTubeチャンネルから視聴できます。解説パンフレットやワークシートは、国研HPからダウンロードできます。

掲載ページ QR コード